



ソフトテニス全国大会出場挨拶 6/18

島根県出雲市で開かれる『第29回全日本小学生ソフトテニス選手権大会』に出場を決めた高静小6年の松尾星花さんと久米夏子さんペアが、役場静内庁舎を訪れ、酒井町長に健闘を誓いました。

2人は「今まで監督とコーチに教わったことと練習の成果を十分に発揮し、悔いのないよう頑張ります」と抱負を述べ、酒井町長は「初めての全国大会で緊張すると思いますが、暑さなど体調管理に気をつけ頑張ってきて下さい」とエールを送りました。



第24回イチャルパ 6/3

北海道アイヌ協会新ひだか支部（大川勝支部長）による先祖供養の儀式『イチャルパ』が、静内真歌のチセ（アイヌ民族の伝統家屋）で厳かに行われ、約100人が参列し、神々や先祖に祈りをささげました。

平成元年から行われ、今年で24回目となるイチャルパは、静内霊園敷地内無縁納骨堂に眠る2,695体の御霊に衷心から鎮魂の意を表す儀式。参加者は、柳の枝を削って作ったイナウ（木幣）を地面に刺して果物などを供え、先祖の霊をなぐさめました。



森は海の恋人運動 5/25

町民の皆さんとの協働によるみどりあふれる環境づくり・豊かな海づくりを目的とした『森は海の恋人運動』国道周辺緑化事業植樹祭が静内真歌で行われました。

春らしい穏やかな天候の中、静内保育所の園児や町民など約130名が参加し、0.39ヘクタールの敷地に町花のエゾヤマツツジやクロマツの苗木1,100本をクワやスコップを使い、一本一本丁寧に植えました。

ニュースフラッシュ

まちのできごと、話題をお届けします。



消防団協力事業所表示証交付式 6/7・8

日高中部消防組合は、地域の消防団活動に積極的に貢献している事業所を認定する『消防団協力事業所表示制度』を4月から新たに導入し、町内の7事業所に表示証を交付しました。

同制度は、従業員等が消防団員として複数入団しているなど、消防団活動に理解や協力があり、地域社会に貢献している事業所を協力事業所として認定し、表示証を交付する制度。道内では564事業所が消防団協力事業所として認定されています。



第7回新ひだか町エプロンピック 6/3

新ひだか町女性団体連絡協議会（野呂順子会長）による『第7回新ひだか町エプロンピック』が町静内体育館で開かれ、エプロンを身にまとった参加者約150名が、スポーツレクリエーションを楽しみました。

料理ベラをバトンにした「ヘラヘラリレー」や「長靴飛ばし」など全13種目を4チームで競い合い、参加者はほとぼしる笑顔でさわやかな汗を流しながら、交流を深め、友情の輪を広げました。



町善行表彰 5/30

町は、今年1月に産業振興基金として多額の寄付をされた會澤實さんと兄・會澤保男さんに、善行表彰を贈りました。

これは、母・フサ子さんのご逝去にあたって、町に寄付されたことによるもので、酒井町長は「町のために多額の寄付をいただきました。有効に活用します」と感謝を述べ、會澤さんは「町の産業振興に役立ててほしい」と話しました。



アニメーション講演会 5/20

こどもの読書週間にちなみ『アニメーション講演会』が女性センター・みらいで開かれ、親子連れなど約30人が参加しました。

アニメーション（子どもの読む力を引き出す読書指導法）指導者として活躍する札幌の小学校教諭・佐藤広也さんが講師を務め、「子どもたちが本を読みたくなる気持ちのスイッチを押すことが大切」と話し、子どもたちが関心を持ち、想像・創造力を養う読み聞かせ方を伝授しました。

新ひだか町の消防団協力事業所

【静内地区】

- ・有限会社 伊藤電気（静内高砂町）
- ・日高中部森林組合（静内田原）

【三石地区】

- ・有限会社 橋本興業（三石本桐）
- ・有限会社 磯貝嘉市商店（三石越海町）
- ・金城軒株式会社 日高工場（三石梟舞）
- ・有限会社 井上自動車整備工場（三石本町）
- ・西島板金（三石本町）



狂犬病予防注射 5/14~29

町は、狂犬病予防法に基づき、静内地区54か所と三石地区47か所で、狂犬病予防注射を実施しました。狂犬病予防注射は年1回、必ず受けさせましょう。



町民ハイキング 5/27

町教育委員会による『町民ハイキング』が開かれ、小学生など22人が参加し、町公民館からうぐいすの森（静内真歌）まで往復約6キロのコースを歩き、春の散策を楽しみました。



親睦パークゴルフ大会 5/22

町老人クラブ連合会による『親睦パークゴルフ大会』が三石蓬莱山公園パークゴルフ場で開かれ、96人が参加し、日ごろの運動不足を解消しながら、親睦と交流を深めました。